

Defense Document 3072-Q

Excerpt from State Department Publication
of Nazi Foreign Office Documents

(Page

Very urgent, strictly secret telegram
from Schulenburg, Sept. 25, 1939

Stalin stated he considered it wrong to leave an independent Polish rump state. He proposed (that) all the Province of Lublin and that portion of the Province of Warsaw which extends to the Bug should be added to our share. In return, we should waive our claim to Lithuania. . . . If we consented, the Soviet Union would immediately take up the solution of the problem of the Baltic countries in accordance with the protocol of Aug. 23 and expected in this matter the unstinting support of the German Government.

辯護側文書 三〇七三—Q

國務省公表 十月八日外務省

文書 扱革

一九三九年九月二十五日

ミューレンベルグ発 至急 極秘電報

一九三九年九月二十五日

スターリンは敗残ポロニアに獨立國を

其のまゝにと置くことは誤りである と述べた。

彼はルカリン地方全部及びその

フルリト地方の一部を我々の

手中に握ると提議した。 此の代り我々は

Ref Doc No. 3072-Q

Oshima

國體觀念ニ透徹致シマシテ萬力一致致シマスレバ、必ズ此ノ非常時局ヲ
 突破シ得ルコトト、私ハ將來ニ對シテ光明ヲ信ジテ居ルノデアリマス。
 總指揮ニナリマシタ政黨ニ對シテ如何ニ考ヘテ居ルカトイフ御尋ネデア
 リマシタガ、政黨ニ對シマシテハ私ノ今申ス點カラ見テ居ルノデアリマ
 シテ、若シモ政黨ニシテ今日尙且ツ黨利益塔ニ趨ツテ居ル政黨ガアルナ
 ラバ速ニ反省ヲサルベキモノデアアル、ドウシテモ反省サレヌトイフナラ
 バ是ハ合法的ナ措置ニ於テ、此ノ非常時局ニ於テハ解散シテ實ハナケレ
 バナラヌト私ハ思フノデアリマス。此ノ事、官僚及政黨ガ協同一致シテ
 行ク爲ニハ草ガ強過ギルトイフ御言葉デアリマシタ。

此ノ意味ハ色々解釋出來ルノデアリマスガ草ガ強イトイフ事ハ是ハ對外
 的ニハ幾ラ強クテモ、強過ギルコトハナイト思フノデアリマス。今ノ御
 考ヘノ點ハ悉ラク協同一致シテ行ク爲ニ先程ノ御言葉ノ片鱗カラ見マス
 ト、強暴デアアル、アレデハ協力が出來ヌトイフ意味ニ於ケル強過ギルト
 イフ言葉デアラウト思フノデアリマス。ソノ點ニツキマシテハ、私ハ斯
 ウ思ヒマス。色々草ガ政治干與ト云フヤウナ議論ガアルノデアリマス

~~我~~はリトアニアに對する我々の

主張を撤回するやある。若し我々

の同意すれば、ソウエスト聯邦は

直ちに三月三日の議定書に従つて

バルチック諸島の解決策を

講ずるであらう。この問題に關して

ドイツ政府の限りない援助を期待する。

ガ、此ノ戦争ヲ致シマス爲ニハ軍ノ意思ト政治家ノ意思ガピツカリト
 一致シナケレバナラヌノデアリマス。一人ノ人ガ將軍デアツテ同時ニ
 政治家デアル場合ニハ、此ノ意思ハ常ニ一致スルノデアリマスガ、現
 在ノ國家組織ニ於キマシテハ、政治ヲ總任致シマスル政治家ト軍ヲ統
 率スル將軍ハ別々ニナツテ居ルノデアリマス。政治家ガ有ユル點ニツ
 イテ軍ヲ諒解シテ居ルコトニナリマスレバ、軍ハ安ンジテ軍ノ事ノミ
 專念スル專ガ出來ルノデアリマスガ是ハ事實ニ於テ不可能デアリマス
 ノデ、ドウシテモ軍ト致シマシテハ、此ノ戦争ヲ遂行スル爲ニ斯ウイ
 フ事ヲシテモライタイ、ア、イフ事ヲシテ貫ヒタイトイフノハ、是ハ
 當然ナ事デアリマス。是ハ戦争學ノ一頁ヲ讀メバ皆議直チニ同意ニ
 ナリ疑問ニサレナイモノデアルト固ク信ジテ居ルノデアリマス。殊ニ
 最近戰ノ如ク國力ヲ盡ダテノ戦争ト云フ場合ニナリマス、軍ト致シ
 マシテハ米一粒ノ不足ニ付イテモ非常ナ關心ヲ持チ、一労働者ノ「サ
 ボタージユ」ニ付キマシテモ、非常ナ關心ヲ持ツノデアリマス。即チ
 若シモ國民ノ食フ米ガ足ラヌトイフ事ニナツテ民心ノ安定ヲ害スルコ